



一粒の麦

ひとつぶのむぎ



夏まつり

聖書のことば

あなたがたは心を騒がしてはなりません。
神を信じ、またわたし（イエス・キリスト）を信じなさい。

（聖書 ヨハネの福音書14章1節）

■ 竣工式に思う ■

地域福祉課長 坂元 淑子

「おはようございます」と挨拶すると「おめでと
うございます」と返ってくる。いつもになく挨拶で
新鮮な気持ちになった9月27日、今日は竣工式。
国富町竹田に地域福祉支援センターとグループホ
ーム青い鳥が完成したのだ。

エデンの園では、昨年～利用者と地域と「共に生
きる」を実現するために～と題して中長期ビジョ
ンが発表された。その一部が、生きがいのある生活
が送れる新しいグループホームと地域のニーズに
応える地域福祉支援センターである。約1年にし
て2つの入れ物ができあがったことになる。

グループホームの利用者7名の代表として竣工
式で点字の挨拶文を読み上げられた幸野さん。「自
分のできることを増やしたいです。頑張るので応
援よろしくをお願いします。」と、短い中にも新しい
生活への期待と意欲をはっきりと述べられ、利用
者の気持ちが直球で心に響いてくる挨拶だった。
私自身には、長い施設生活から地域へ出て行く時
の実感は正直言って分からない。ただ想像するし
かないのだが、この大きな期待が充実した生活に
結びつくよう今の利用者の気持ちを大切にしなければなら
ないし、地域へ出たことで夢がかなって
よかった、と終わるのではなく、次の夢をまた一步
実現へと導く使命を与えられた感じだ。利用者
に寄り添い、真摯な態度で支援に当たらねばと思う。

一方、地域福祉支援センターでは、放課後等デ
イサービスという児童を対象にした事業を11月か
ら始める。竣工式の国富町福祉課課長の祝辞では、
昨年まで町内になかった事業の立ち上げに対する

喜びの言葉が述べられた。まさに地域のニーズに
応える形で事業を始めることになる。また、エデ
ンの園が児童の事業に関わるのは初めてで、試行錯
誤しながら準備を始めているが、励ましのことば
をいただくこともあり、身の引き締まる思いがす
る。この事業だけに限らず、今後は地域との連携が
ますます必要になってくるだろう。

開かれた施設にならなければならないし、地域
の方々にも、ご意見やご要望を寄せていただきたい
ところである。

このように、新しいことを始めるに当たっては
期待に胸も膨らむが、不安も0ではない。そのよう
な時には、竣工式で牧師が取り上げられた聖書の
ことばを思い出したい。「神はみこころのままに、
あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行
わせてくださるのです。すべてのことを、つぶやか
ず、疑わずに行いなさい。」宗教を別にしても、こ
のような体験はたまにあるような気がする。素直
になれずに文句ばかり言っているような時には悪
いことが重なったり、熱心に取り組んでいると周
囲が協力してくれてなぜか事がうまく運んだり。
世の中は、理屈ではなく、流れに乗って物事が進ん
でいくこともあるのではないだろうか。その時は、
ぐちは言わず、信じてやっていくのが良いようだ。
(将来など、見えない先のことを信じて事を行うの
は凡人の私にはなかなか難しいことではあるが。)
利用者の希望、地域のニーズなど、今何が求められ
ているのかを見極め、何をすべきかを考えて、前を
向いて進んで行きたいと思う。

